

# 患者代表ら大阪着

## 巡礼姿でチツソ総会へ



大阪駅に着いた水俣病患者代表たち

二十六日大阪へ向かされるチツソ株主として出席する水俣病患者の市民会議員長、船本・水俣病を告会社（本社東京、江頭豊社長）の牛嶋直さん（右）同市役所ら患者発する金の会員ら支援団体二十人第四十三回定期株主総会に、一株 家族十四人と、日吉フミコ水俣病は、二十五日午前十時四十五分着

の特急「きりしま」で大阪入りした。

同駅ホームには大阪・告発する会員の各地区から集まった支援団

体百五十人が「怒」の字を染め抜いたノボリをひるがえして出迎

え、三ノ宮から乗り込んだ先頭隊の渡辺英蔵代表ら五人と合流した

巡礼姿の一行十九人を拍手で歓迎した。今回初めて出席する田中実

子さん（と坂本しのぶさん）の二人の胎児性患者も汚濁な笑顔を見せた。

同駅中央コンコースで田中実子さんの父親田中義光さん、牛嶋直さん、日吉フミコ会長らが立って

「みなさんの支援のおかげで、再

びはるはるやってきました。チツソの江頭に、娘のあわれな姿を見せてやる」と憤りをこめて総会乗り込みの決意を語った。

このあと、一行はこ鉢歌を歌う患者を中心に、北区家船町のチツソ大阪事務所までテ毛行進、同事務所で支援団体代表が総会の修正案などを川村和男所長に手渡し、

「あすの総会には患者のためにいい席を確保せよ。江頭社長は胎児性患者を抱いてみよ」と申し入れた。同所長はこれを「詞」に取り次ぐと答えた。午後から大阪府庁を訪れ、黒田府知事に患者家族の窮状を訴えた。

（以下省略）